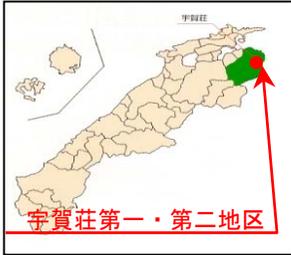


宇賀荘地区農業生産法人等育成緊急整備事業

位置図



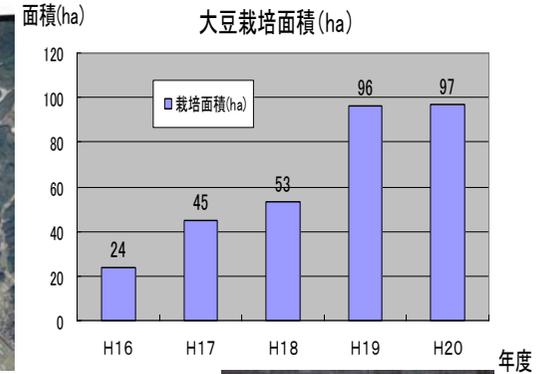
【事業概要】

整備面積 238.4ha (うち233.6haで暗渠排水)
 排水対策 幹線排水路3,723m 排水機場 1ヶ所
 事業工期 平成12年度～平成19年度
 総事業費計 4,730百万円 (事務費込み)
 土地改良区 安来市土地改良区
 農業経営 農業生産法人「ファーム宇賀荘」

標準区画1haの大区画ほ場



大規模な大豆への転作



地区の紹介

【整備面】

大正時代に耕地整理された12a区画水田を標準区画1haに整備 (作業効率向上)
 土水路による用水路を自然圧パイプライン化 (ポンプ場が不要) **県内初**
 暗渠排水管を利用した地下灌漑システム (大豆等の畑作物への転作が容易) **県内初**

【営農面】

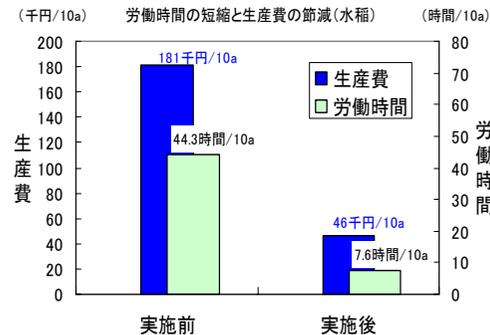
基盤整備を契機に農業生産法人「ファーム宇賀荘」を設立 (H20.3月) **県内最大**
 ファーム宇賀荘に整備面積の238.4haのうち172.7haを集積 (集積率72%)
 関係農家338戸のうち242戸がファーム宇賀荘の組合員 (参加率72%)

【環境への取り組み】

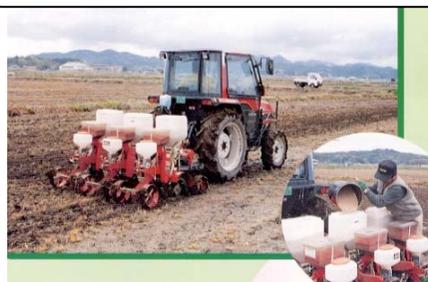
平成19年度県の募集する「環境を守る農業宣言」を行う
 「どじょうの住める環境」で栽培する「特産どじょう米」への取り組み
 除草の一環で開始した「冬季湛水」により水田が白鳥の休息地となる

【事業効果】

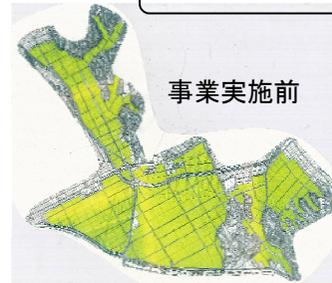
大区画化により大型機械体系となり生産コストダウン
 水稲：従来180,913円/10a → 46,144円/10a (74.5%ダウンの25.5%)
 大豆：従来 42,359円/10a → 21,732円/10a (48.7%ダウンの51.3%)



大型機械による大豆の播種

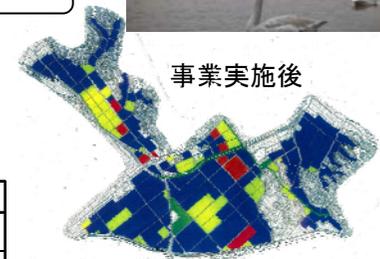


農業生産法人への農地集積



法人への集積率 0.0%

農業生産法人	■ (Blue)
認定農業者	■ (Red)
個別経営農家	■ (Green)

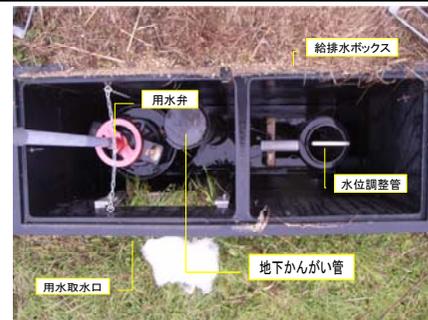


法人への集積率 72.0%

冬季湛水水田の白鳥 →



パイプライン化による用排水管理の省力化



特産「どじょう米」の栽培

